

2020年度 新入生ガイダンス

大分大学経済学部
2020年4月6日

本日のスケジュール

1. 大学での勉強のしくみを知ろう
2. 自分の時間割を作成すること
3. 自分の時間割を登録すること
4. 分からないことがあるときに

休憩時間を設定していませんので、トイレに行きたくなくなった人はガイダンス中に自由に行っていただいてもかまいません。
ガイダンス中に体調不良を感じたら、遠慮せずに近くの教員に申し出てください。

資料確認

配付物一覧が入っています。後ほど確認してください。

受付時に配布された学生証、ID/PWが記載された紙はなくさないよう管理してください。
ID/PWは履修登録の際に使用します。

この説明ファイルをガイダンス終了後に、学部HPに掲載します。確認して、活用してください。

教員紹介

導入セミナーの担当教員を紹介します。まずは自分のセミナーの担当教員の顔と名前を覚えましょう。ガイダンス中に分からないことがあれば、教員に尋ねてかまいません。

『履修の手引き』pp.45-72に顔写真付きプロフィールがあります。

1.大学での勉強のしくみ

自分の時間割を作成し、受講する科目をweb登録(教務情報システム: CAMPUS SQUARE)します。

履修登録スケジュール

登録締切 4月10日(金)15:00まで

教養科目抽選結果発表 4月13日(月)18:00以降
 掲示板と教務情報システム

確認・訂正 4月15(水)～16日(木)17:00まで

登録状況確認 4月23日(木)8:30～

* 詳細は配付資料にある「令和2年度前学期 履修手続きについて」をよく読んでください。

1.大学での勉強のしくみ

授業(科目)には大きく2つのカテゴリーがあります。

全学共通科目(教養教育科目)

すべての学部の学生にむけて開講されている科目です。
 ベージュ色の冊子に科目の詳細が説明されています。

学部専門科目

各学部の学生にむけてに開講されている科目です。
 ピンク色の冊子に経済学部専門科目の詳細が説明されています。

それらの説明をよく読み、自分で受講する授業を決めます。

1.大学での勉強のしくみ

卒業するには、124単位以上の単位取得が必要です。
 そのうち、全学共通科目は34単位以上、学部専門科目は90単位以上必要です。

卒業に必要な単位

124単位、外国人留学生は122単位

3年次進級要件

47単位

時間の余裕があるときに、『履修の手引き』pp.3-28に目を通しましょう。

1.大学での勉強のしくみ

1年間で2つに分け、前期(4月～9月)後期(10月～3月)に授業が実施されます。授業終了後に試験を受験し、成績評価され60点以上で単位が認定されます。基本的に各科目の授業は、週1回90分の講義×15回で構成されています。

経済学部では、各学期で登録できる単位数は24単位までです。長期休暇に実施される集中講義の単位数はこれに含まれません。

語学の科目は1単位、その他の科目は2単位です。

1.大学での勉強のしくみ

経済学部では、2年生になるときに所属学科を決めます。みなさんから所属希望学科を順位をつけて申請してもらい、成績(GPA)で決定します。

また、3年生に進級するには、2年生が終わるまでに取得すべき科目・単位数がすべて取得できていなければなりません(演習参加要件)。

1.大学での勉強のしくみ

GPAについて

成績を5段階評価し(4点満点)、平均点を算出します。学習到達度や成績の推移を把握することができます。履修登録した科目すべてが対象になります。授業開始後4週目までは必修・選択必修科目以外は「履修取り消し」が可能です。

GPAは成績優秀者への奨学金制度の選考などに活用されています。

1.大学での勉強のしくみ

卒業要件の124単位のすべてを自由に登録して、受講できるわけではありません。各学年で取得すべき科目があります(必修科目、選択必修科目と呼ばれる科目)。

指定されているそれらの科目の単位が取得できないと3年生に進級できない、卒業が遅れる、といったことが生じますので、説明をよく聞いて時間割を作成しましょう。

2.自分の時間割をつくる

学期ごとに自分で時間割をつくり、登録します。その時間割を履修届、登録を履修登録といいます。

『履修の手引き』p.29～に、自分の時間割を書きこんでいきましょう。

2.自分の時間割をつくる

時限	1 限			2 限			3 限			4 限			5 限		
科目 曜日	授業科目	担当 教員	単位												
月															
火															
水															
木															
金															
集中 講義															
※必ず申請科目を書き留めておくこと。													合計	単位	

2.自分の時間割をつくる

以下の1)~6)は登録するクラスが決まっています。
7)は自分で選んで受講する科目を決めます。

- 1) **英語クラス**
「総合英語」 or 「基礎英語 & 基礎英語補習」
- 2) **英会話** (前期にクラス分けされた場合)
- 3) **第二外国語** (月1限 or 火1限)
- 4) **導入セミナー** (月3限 or 木4限 or 金4限)
- 5) **専門基礎科目**
- 6) **数学基礎** (火4限・金5限)
- 7) **全学共通科目** (3科目が上限, 例外科目あり)

1)~5)は、1・2年生の間に単位取得しなければ、3年生になれない科目の一部です。

合計24単位まで余裕がある場合には**専門科目**を選びましょう。

2.自分の時間割をつくる

- 1) **英語クラス**
「総合英語」 or 「基礎英語 & 基礎英語補習」
 - 2) **英会話** (前期のクラスの場合)
 - 3) **第二外国語** (月1限 or 火1限)
 - 4) **導入セミナー** (月3限 or 木4限 or 金4限)
 - 5) **専門基礎科目**
 - 6) **数学基礎** (火4限・金5限)
 - 7) **全学共通科目** (3科目が上限, 例外科目あり)
- 24単位まで余裕がある場合には**専門科目**

1)~3) 外国語科目の記入

- 1) **英語クラス**
配付資料に、クラス分けが記載されています。
「総合英語 I」 or 「基礎英語 I & 基礎英語補習」
- 2) **英会話**
前期のクラスの場合
- 3) **第二外国語** (月1限 or 火1限)
配付資料に、クラス分けが記載されています。
基礎ドイツ語 I・基礎フランス語 I
基礎中国語 I・基礎ハンブル I

2.自分の時間割をつくる

- 1) 英語クラス
「総合英語」or「基礎英語&基礎英語補習」
 - 2) 英会話(前期のクラスの場合)
 - 3) 第二外国語(月1限 or 火1限)
 - 4) 導入セミナー(月3限 or 木4限 or 金4限)
 - 5) 専門基礎科目
 - 6) 数学基礎(火4限・金5限)
 - 7) 全学共通科目(3科目が上限, 例外科目あり)
- 24単位まで余裕がある場合には専門科目

4) 導入セミナーの記入

令和2年度(2020年度) 導入セミナー開講曜日と教室					
担当教員	曜日	教室	担当教員	曜日	教室
高山 英男	月3限	第10演習室	加藤 典生	木4限	第10演習室
高見 博之		インテリジェント教室	城戸 照子		共用演習室4-1
村山 悠		第7演習室	外炉保 大介		第8演習室
本谷 るり		第8演習室	林 勇貴		第11演習室
矢野 英子	木4限	共用演習室4-1	湯浅 豊生	金4限	第12演習室
鶴崎 清貴		201号教室	青野 篤		第2実習室
大井 尚司		第7演習室	宇野 真人		第7演習室
小笠原 悟		インテリジェント教室	藤村 賢訓		第8演習室
越智 学		203号教室	宮町 良広		第11演習室
小野 慎一郎		第9演習室	佐藤 則行		第12演習室
小野 宏		第2実習室			

2.自分の時間割をつくる

- 1) 英語クラス
「総合英語」or「基礎英語&基礎英語補習」
 - 2) 英会話(前期のクラスの場合)
 - 3) 第二外国語(月1限 or 火1限)
 - 4) 導入セミナー(月3限 or 木4限 or 金4限)
 - 5) 専門基礎科目
 - 6) 数学基礎(火4限・金5限)
 - 7) 全学共通科目(3科目が上限, 例外科目あり)
- 24単位まで余裕がある場合には専門科目

5) 専門基礎科目

科目名	曜日	担当教員	学籍番号	教室
経済学入門	木1	経済学科教員	2021001-2021140	101
			2021141-2021294	202
初級ミクロ経済学	木3	小野(宏)	2021001-202150	202
初級政治経済学	金1	江原	202151-2021294	202
会計学入門	火2	越智	2021001-2021140	101
			小野(慎)	2021141-2021294
経営学入門	火3	碓・井川・ 本谷・藤原	2021001-2021140	101
			2021141-2021294	202
イノベーション・ マネジメント入門	火5	松隈ほか	2021001-2021140	101
			2021141-2021294	202

演習参加(3年進級)要件(履修の手引きp.8~)

3年生に進級するには、1~2年生の間に、以下の専門基礎科目の単位を取得しなければなりません。

専門基礎科目

必修 経済学入門 1科目

選択必修

・初級ミクロ経済学・初級政治経済学 から1科目

・経営学入門・会計学入門・法学入門・地域学入門・イノベーション・マネジメント入門 から3科目

卒業要件(履修の手引きp.14)

【社会イノベーション学科のみ】

専門基礎科目

必修

経済学入門・イノベーション・マネジメント入門

の2科目

選択必修

初級ミクロ経済学・初級政治経済学 から1科目

経営学入門・会計学入門 から1科目

法学入門・地域学入門

から1科目

2. 自分の時間割をつくる

- 1) 英語クラス
「総合英語」or「基礎英語&基礎英語補習」
 - 2) 英会話(前期のクラスの場合)
 - 3) 第二外国語(月1限 or 火1限)
 - 4) 導入セミナー(月3限 or 木4限 or 金4限)
 - 5) 専門基礎科目
 - 6) 数学基礎(火4限・金5限)**
 - 7) 全学共通科目(3科目が上限, 例外科目あり)
- 24単位まで余裕がある場合には専門科目

6) 数学基礎

AO入試・推薦入試・私費外国人留学生入試の入学者は、種別によって以下の科目を履修してください。

科目名	学期	曜限	受講対象者
数学基礎A	前期	火4限	AO入試(簿記資格、課題探求(普通科以外))、推薦入試(商業推薦)、私費外国人留学生入試
数学基礎B	前期	金5限	AO入試(英語資格、課題探求(普通科))、推薦入試(普通推薦)

AO入試・推薦入試以外の入学者は、以下の科目を履修できます。

科目名	学期	曜限	受講対象者
数学基礎S	後期	火4限	高校時代に数学II・数学Bを履修済みのもの。 ただし、数学基礎A、数学基礎B受講者は履修不可。

2.自分の時間割をつくる

- 1) 英語クラス
「総合英語」or「基礎英語&基礎英語補習」
- 2) 英会話(前期のクラスの場合)
- 3) 第二外国語(月1限 or 火1限)
- 4) 導入セミナー(月3限 or 木4限 or 金4限)
- 5) 専門基礎科目
- 6) 数学基礎(火4限・金5限)
- 7) **全学共通科目**(3科目が上限, 例外科目あり)
→ 24単位まで余裕がある場合には専門科目

7)全学共通科目

全学共通科目(教養教育科目)とは
専門に特化した教育ではなく、学部の学問の枠を超えた科目です。
大分大学全学部の教員が講義をしています。
主題別に取得すべき最低単位数が決まっています。
月2、水1・2・3、木2、金2に開講されています。

7) 全学共通科目

1年生・2年生の間は、履修できる科目数に制限があります。

前期:3科目、後期:3科目まで

受講希望者が多い場合、使用する機器などにより、抽選の可能性があります。

抽選のスケジュールや、抽選に外れた場合の2回目の申請方法は、配付資料の「令和2年度前学期履修手続きについて」を確認してください。

7)全学共通科目

以下の科目は、3科目制限外です。

科目名	学期	主題
職業とキャリア開発	後	導入・転換
分大キャンパスライフ入門	前	導入・転換
情報処理入門	前・後	導入・転換
大分の人と学問	前	地域・福祉
数学基礎A	前	導入・転換
数学基礎B	前	導入・転換
数学基礎S	後	導入・転換
情報リテラシーⅠ	前・後	自然・科学
情報リテラシーⅡ	前・後	自然・科学

「情報処理入門」と「情報リテラシーⅠ」は重複受講不可です。

7)全学共通科目

情報リテラシーⅠ

ワードとパワーポイントの活用方法

情報リテラシーⅡ

エクセルの活用方法

情報リテラシーⅠ	
学期	曜限
前	月4
	月5
後	火2

情報リテラシーⅡ	
学期	曜限
前	水1
	木4
後	水1
	金5

7)全学共通科目

情報リテラシーⅠ・情報リテラシーⅡはPCを使用しますので、受講可能者数に上限があります。また、情報リテラシーⅠ・Ⅱに限り、前・後期分を同時に受けつけます。

申込用紙を配布していますので、希望者は記入の上、本日17:00までにガイダンス教室に置いてあるボックスに入れてください。

希望者が多い場合は抽選し、受講可能者を掲示します。

抽選結果発表：4月8日(水) 13:00 掲示板と教務情報システム(CAMPUS SQUARE)の掲示板

結果を確認して、前期に履修する人は10日(金)15:00までに履修登録してください。

後期に履修する人は、後期の登録時に入力してください。

7)全学共通科目

全学共通科目の進級要件	
①導入・転換	導入セミナー
②福祉・地域	2単位
③文化・国際および④社会・経済	2単位
⑤自然・科学	2単位

各主題について一定数の単位取得が進級・卒業要件となります。『履修の手引き』p.8～を参照してください。

2.自分の時間割をつくる

- 1) 英語クラス
「総合英語」or「基礎英語 & 基礎英語補習」
 - 2) 英会話(前期のクラスの場合)
 - 3) 第二外国語(月1限 or 火1限)
 - 4) 導入セミナー(月3限 or 木4限 or 金4限)
 - 5) 専門基礎科目
 - 6) 数学基礎(火4限・金5限)
 - 7) 全学共通科目(3科目が上限、例外科目あり)
- 合計24単位まで余裕がある場合には専門科目を選びましょう。

2.自分の時間割をつくる

簿記関連科目の単位認定と早期履修について

単位認定

日商簿記検定3級以上 → 「初級簿記」

同2級以上 → 「初級簿記」と「中級簿記」

早期履修制度

前期「会計学Ⅰ」、後期「中級簿記補論」

説明会

日時：4月28日(火) 12:10～(10分程度)

場所：101号 2限の「会計学入門」終了後に実施

2.自分の時間割をつくる

経済学部の教育プログラム

経済学部では、みなさんの関心にそって、複数の教育プログラムを準備しています。

- IBP(international business program)、短期語学研修
- 田舎で輝き隊！
- 経営分析論Ⅰ・Ⅱ(JRおいたシティ、ジェットスタージャパン)
- 社会人講義
7科目(大分銀行、野村證券、四極会、連合大分、南九州税理士会、大分県弁護士会、損害保険ジャパン日本興亜)

これら以外にも、企業と連携した授業、国内外での実習・インターンシップを含む授業など、たくさんの魅力的な科目があります。シラバスをじっくり読んでみてください！



プログラムの目的 国際社会で活躍できる人材育成

本学部は、アドミッションポリシーとして国際公務員、外国企業勤務、海外ボランティアなど国際社会での活躍を志望する人材を求めています。このプログラムは、こうした志望を持つ学生に対して、1年間の協定校での留学による単位取得を柱として、「国際化、情報化などに対応できる能力」を育成するよう取り組み、国際的に活躍できる企業人・公務員の育成を進めるものです。

プログラムの概要 留学を含めて4年間で卒業 独自の留学奨学金で支援

協定校留学を希望する学生に、1年次より演習などの教育上の支援体制を整備し、留学への準備を進めます。留学中は、派遣先交流協定校での正課でない言語コースなど予科・補講などを進んで履修し、帰国後これらは卒業要件上の単位として認定されます。留学前・中にも所属する演習担当教員の指導を受けるとともに、帰国後はその成果を報告し、これらを卒業論文等に反映させるよう取り組み、卒業とともに本プログラムの修了を証します。

募集時期	1年次前期末・基礎セミナーの所属振り分けと同時に進行
条件(選抜)	1年次後期に交流協定校派遣選留学生選考で選抜されること
留学時期	2年次後期～3年次前期
留学先	交流協定を結んでいる海外の大学
費用	留学先での授業料の不徴収
奨学金	学生支援機構および学内制度と本学部固有の「久保奨学金」
支援体制	プログラム申請時より演習指導教員が当たる
対象学生数	30名程度

短期語学研修

経済学部が主催する、短期の語学研修です。夏休みに実施されます。

詳細は『2020年度 導入セミナーのてびき』p.11をご覧ください。また、説明会も実施します。

説明会

~~2020年4月16日(木)12:20～201号教室~~

* 新型コロナウイルス感染症への対応のため、中止となりました。

4.分からないことがあるときに

履修登録サポート 4月8日・9日

履修登録にあたってサポートが必要な人、不安な人は、指定された日時・場所に来てください。指定された時間内であれば、いつでもかまいません。

また、履修サポートに来る際には、本日配布した資料を持ってきてください。

日時・場所: 記載した用紙を導入セミナー担当教員から、のちほど受け取ってください。

履修サポート以降も、履修内容や登録にあたって質問がある人は、自分の導入セミナー担当教員にメールしてください。

4.分からないことがあるときに

みなさんがよく活用する窓口は「経済学部学務係」です。

みなさんへのお知らせは基本的に掲示板です。毎日確認しましょう。ただし、今年度しばらくは、新型コロナウイルス感染症への対応のため、メールでのお知らせが多くなる可能性があります。メールも毎日確認してください。メールの設定は、履修登録の際に説明します。

また以下の番号から電話がある場合も、必ず応答するようにしてください。

経済学部学務係

電話: 097-554-7656

メールアドレス: keigakum@oita-u.ac.jp

大学からの電話番号は、097-554-〇〇〇〇です。

先生の研究室などから直接連絡する場合があります。

42

新型コロナウイルス感染症への対応の一環として、一部の授業をオンラインで実施することを検討しています。詳細は学部HPや教務情報システム(CAMPUS SQUARE)で後日お知らせします。

該当科目を受講するみなさんには機器などの準備をしていただく場合があります。可能な限りPC、タブレットで受講してください。スマートフォンでは通信が切れる可能性があります。